

年 組 名前



「公倍数」や「公約数」を見つける方法に、「組み立てわり算」というものがあるよ。
倍数や約数を見つけるひっ算だね。



組み立てわり算(くみたてわりざん)「最小公倍数」

最小公倍数を、組み立てわり算(ひっ算)でもとめよう

●2つの数(12と28)の組み立てわり算

2つの数を共通にわれる整数でわる	2)	12	28	「12」と「18」を「2でわる」
2つの数を共通にわれる整数でわる	2)	6	14	
共通でわれなくなったら計算は終わり			3	7	

上の組み立てわり算(ひっ算)から、「 $2 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 7$ 」という数をもとめられたね。
この「 $2 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 7$ 」を「すべてかけ算」した数が、「12と18の最小公倍数」になるよ。

「12と28の最小公倍数」=「 $2 \times 2 \times 3 \times 7$ 」=「84」

●3つの数(18と30と75)の組み立てわり算

3つの数を共通にわれる整数でわる	3)	18	30	75	共通しない数「25」は、そのまま下ろす
2つ以上の数が共通にわれるならわる	2)	6	10	25	
2つ以上の数が共通にわれるならわる	5)	3	5	25	
共通でわれなくなったら計算は終わり			3	1	5	

上の組み立てわり算(ひっ算)から、「 $3 \cdot 2 \cdot 5 \cdot 3 \cdot 1 \cdot 5$ 」という数をもとめられたね。
この「 $3 \cdot 2 \cdot 5 \cdot 3 \cdot 1 \cdot 5$ 」を「すべてかけ算」した数が、「18と30と75の最小公倍数」になるよ。

「18と30と75の最小公倍数」=「 $3 \times 2 \times 5 \times 3 \times 1 \times 5$ 」=「450」



「2つ以上の数がわれる」なら、わり算を続けていくんだね。そして「これ以上われない」ってなったら、もとめた数をすべてかけるんだ!



5年生

算数ドリル

倍数と約数①-2

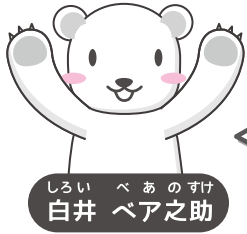
時間 10分

年 組 名前

点数

クリア 30点

/ 40点



16と24の最小公倍数を、組み立てわり算でもとめるよ

$$\begin{array}{r}
 2 \) \ 16 \ 24 \\
 \hline
 2 \) \ 8 \ 12 \\
 \hline
 2 \) \ 4 \ 6 \\
 \hline
 2 \ 3
 \end{array}$$

もとめられた数は、「 $2 \cdot 2 \cdot 2 \cdot 2 \cdot 3$ 」

最小公倍数は、これらの数を「すべてかけた数」だから

$[2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 3] = [48]$

16と24の最小公倍数は、「48」になるよ

組み立てわり算(ひっ算)を使って、()の中の数の最小公倍数をもとめよう [1つ5点]

(1) (30・45)

$$\begin{array}{r}
 3 \) \ 30 \ 45 \\
 \hline
 5 \) \ 10 \ 15 \\
 \hline
 2 \ 3
 \end{array}$$

答え 90

(2) (6・8)

$$\begin{array}{r}
 \) \\
 \hline
 \\
 \\
 \end{array}$$

答え

(3) (12・18)

$$\begin{array}{r}
 \) \\
 \hline
 \\
 \\
 \end{array}$$

答え

(4) (12・60)

$$\begin{array}{r}
 \) \\
 \hline
 \\
 \\
 \\
 \end{array}$$

答え

(5) (42・18)

$$\begin{array}{r}
 \) \\
 \hline
 \\
 \\
 \\
 \end{array}$$

答え

(6) (22・66)

$$\begin{array}{r}
 \) \\
 \hline
 \\
 \\
 \\
 \end{array}$$

答え

(7) (27・9・15)

$$\begin{array}{r}
 \) \\
 \hline
 \\
 \\
 \\
 \\
 \end{array}$$

答え

(8) (18・24・36)

$$\begin{array}{r}
 \) \\
 \hline
 \\
 \\
 \\
 \\
 \end{array}$$

答え



わかるかじゃ?

みそら

年 組 名前



こうばいすう こうやくすう
「公倍数」や「公約数」を見つける方法に、
くみたてわり算というものがあるよ。
倍数や約数を見つけるひっ算だね。



組み立てわり算(くみたてわりざん)「最大公約数」

最大公約数を、組み立てわり算(ひっ算)でもとめよう

●2つの数(12と30)の組み立てわり算

2つの数を共通にわれる整数でわる	}	2)	12	30	「12」と「30」を 「2でわる」	
2つの数を共通にわれる整数でわる	}	3)	6	15		「6」と「15」を 「3でわる」
共通でわれなくなったら計算は終わり	})	2	5		

上の組み立てわり算(ひっ算)から、「 $2 \cdot 3$ 」という数をもとめられたね。

この「 $2 \cdot 3$ 」を「すべてかけ算」した数が、「12と30の最大公約数」になるよ。

「12と30の最大公約数」= $2 \cdot 3$ =「6」

●3つの数(16と24と48)の組み立てわり算

すべての数を共通にわれる整数でわる	}	2)	16	24	48	「16」と「24」と 「40」を「2でわる」	
すべての数を共通にわれる整数でわる	}	2)	8	12	24		「8」と「12」と 「24」を「2でわる」
すべての数を共通にわれる整数でわる	}	2)	4	6	12		
共通でわれなくなったら計算は終わり	})	2	3	6		

上の組み立てわり算(ひっ算)から、「 $2 \cdot 2 \cdot 2$ 」という数をもとめられたね。

この「 $2 \cdot 2 \cdot 2$ 」を「すべてかけ算」した数が、「12と30の最大公約数」になるよ。

「16と24と40の最大公約数」= $2 \cdot 2 \cdot 2$ =「8」



「すべての数が共通にわれない」なら、わり算はそこで
終わり。あとは、もとの数をすべてかけるんだ!
「最小公倍数」のときは、やり方がちがうよ。
まちがわないように、気をつけてね。



5年生

算数ドリル

倍数と約数①-4

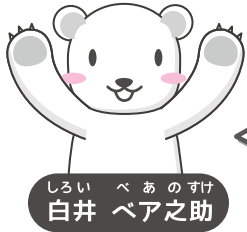
時間 10分

年 組 名前

点数

クリア 30点

/ 40点



16と24の最大公約数を、組み立てわり算でもとめるよ

2)	16	24
2)	8	12
2)	4	6
		2	3

求められた数は、「2・2・2」

最大公約数は、これらの数を「すべてかけた数」だから

「2×2×2」=「8」

16と24の最大公約数は、「8」になるよ

組み立てわり算(ひっ算)を使って、()の中の数の最大公約数をもとめよう [1つ5点]

(1) (72・68)

2)	72	68
2)	36	34
		18	17

答え 4

(2) (12・40)

)			

答え

(3) (24・18)

)			

答え

(4) (24・42)

)			

答え

(5) (40・16)

)			

答え

(6) (13・39)

)			

答え

(7) (54・30・42)

)				

答え

(8) (72・252・288)

)				

答え



できたかじゃ?

みそら